2026 年 11 月 19 日
株式会社テー・オー・ダブリュー

NEWS RELEASE

TOW 主催事業「AMBIENT KYOTO」
レイ・ハラカミの代表作『lust』を中心とした展覧会を開催
「rei harakami AMBIENT KYOTO」
～2027 年 3 月 5 日（金）、
京都 梅小路・第一工業製薬株式会社 本店（旧本社ビル）にて開幕～

株式会社テー・オー・ダブリュー（本社：東京都港区、代表取締役社長：村津憲一、以下 TOW）は、TOW グループのパーパス「新しい時代の体験を創る」の実現に向け、リアルエンタメ領域の強化を進めております。

その取り組みの一環として、当社が 2022 年の初開催以来、主催幹事および企画・制作を担ってきた、京都を拠点に「アンビエント」をテーマに、「音」と「アート」、そして「空間」により構成される展覧会「AMBIENT KYOTO」において、レイ・ハラカミの代表作『lust』を中心とした展覧会「rei harakami AMBIENT KYOTO」を、2027 年 3 月 5 日（金）から 6 月 6 日（日）まで、京都 梅小路・第一工業製薬株式会社 本店（旧本社ビル）にて開催いたします。



今回の展覧会では、レイ・ハラカミが 2005 年に発表した代表作『lust』を中心に、その音楽を新たな体験に再構築します。

会場は、築 90 年を超える大正モダン建築、工業製薬の旧本社ビル。京都の地で時間を重ねてきた空間で、レイ・ハラカミの音楽にあらためて耳を傾けるオーディオインスタレーションの展覧会です。空間のクリエイティブディレクションは、「ダムタイプ」のメンバー、高谷史郎。レイ・ハラカミの映像作品を手掛けてきた高谷が、時を経て再びレイ・ハラカミの音楽と向き合います。

2011 年に 40 歳でこの世を去った音楽家、レイ・ハラカミ。唯一無二の音色と温かみのある電子音楽は、今なお世代やジャンルを超えて愛され続けています。逝去から 16 年目を迎える 2027 年春、長年暮らし、創作活動の拠点とした京都で、その音楽世界を体験する展覧会「rei harakami AMBIENT KYOTO」を開催します。

リアルタイムでその音楽に触れていた世代も、これから初めて出会う世代も、ともにその世界に浸る。京都で生まれたその音楽を、次の世代へとつないでいきます。最初の一音でレイ・ハラカミとわかる、唯一無二の音色。時代を超えて新たな聴き手を惹きつけるその音楽に、ゆかりの地・京都で再び出会う展覧会です。

本リリースでは、展覧会の概要とともに、レイ・ハラカミの音楽や会場の特徴についてご紹介します。

【開催概要】

■タイトル： rei harakami AMBIENT KYOTO（レイ・ハラカミ アンビエント・キョウト）
■会期： 2027 年 3 月 5 日（金）〜6 月 6 日（日）／無休・94 日間の開催
■会場： 第一工業製薬株式会社 本店（旧本社ビル）
■住所： 京都府京都市下京区西七条東久保町 55
■アクセス：電車｜JR 嵯峨野線『梅小路京都西』駅 徒歩約 5 分（京都駅から 1 駅）
バス｜京都駅前より市バス 205 系統・京阪京都交通バス 2 系統ほか、
『七条千本』下車 徒歩約 5 分 タクシー｜JR 京都駅より約 10 分
MAP：https://maps.app.goo.gl/VrzvorR9f4ky9MqW7
■アーティスト： レイ・ハラカミ
■チケット： 2027 年 1 月発売予定
■主催： AMBIENT KYOTO 実行委員会（TOW / Traffic）
■企画制作： TOW / Traffic
■特別協力：第一工業製薬、立命館大学 デザイン・アート学部
■広報： HOW INC.
■協力： Special Operation Design
公式サイト：https://ambientkyoto.com/
X：https://x.com/ambientkyoto
Instagram：https://www.instagram.com/ambientkyoto
Facebook：https://www.facebook.com/ambientkyoto

【展覧会「rei harakami AMBIENT KYOTO」】

レイ・ハラカミは、長年京都で暮らし、創作活動の拠点とした音楽家です。唯一無二の音色と温かみのある電子音楽は、今なお世代やジャンルを超えて愛され続けています。

1998 年の 1st アルバム『unrest』を皮切りに、『opa*q』『red curb』『lust』などの作品を発表。独特の音色と繊細なサウンドによって、ジャンルや世代を超えて多くの人々を魅了してきました。

本展では、2005 年に発表された代表作『lust』を中心に、レイ・ハラカミの音楽を新たな体験に再構築します。会場は、築 90 年を超える大正モダン建築、第一工業製薬の旧本社ビル。京都の地で時間を重ねてきた空間で、レイ・ハラカミの音楽にあらためて耳を傾けるオーディオインスタレーションの展覧会です。リアルタイムでその音楽に触れていた世代も、これから初めて出会う世代も、ともにその世界に浸る。京都で生まれたその音楽を、次の世代へとつないでいきます。

レイ・ハラカミ　プロフィール



広島出身の音楽家、電子音楽家、プロデューサー。学生時代より京都に住み、前衛映画、実験映像のパイオニアである松本俊夫に映像制作を学ぶ。映像作家・原神玲として活動する傍ら、音楽制作も続け、1996 年には、Flare（ケン・イシイ の別名義）のリミックス・アルバム『Re-grip』収録の「Curved Flow (Rei Harakami Path Mix)」 でレイ・ハラカミ名義の初のリリースを果たした。 1998 年、1st アルバム『unrest』を発表。翌 1999 年に 2nd アルバム『opa*q』、2001 年に 3rd アルバム『red curb』、2005 年に 4th アルバム 『lust』を発表した。

Photo: Wataru Umehara

くるりや NUMBER GIRL、UA、矢野顕子など人気アーティストのリミックスやアレンジ、プロデュースも多く手がけ、矢野顕子とは「yanokami」名義でも活動。映画『天然コケッコー』のサウンドトラックの書き下ろしなど、幅広く活躍した。 そのほか、東日本大震災の発生直後に立ち上がった「プロジェクト FUKUSHIMA!」への参加など、セッション、演奏活動にも積極的に関わっていった。2011 年 7 月 27 日死去。享年 40 歳。

作品について

『lust』（2005）



生前、最後のオリジナル・アルバムにして最高傑作

「このアルバム発表したら、引退しようかなと考えておりました」とコメントを残した『red curb』から約 4 年を経て、2005 年にリリースされた、 4 枚目で最後となったオリジナル・アルバム。音楽的な成熟と完成度の高さで、レイ・ハラカミの名を広く知らしめた作品である。 ブランクの間に、さまざまなアーティストのプロデュースやアレンジ、リミックスを手掛けて、活動の幅を広げていった。「ここ数年のリミックス ／プロデュースワークで、共通している事は、僕の作る音楽の真ん中に 『声』という主体が定位している事でした」という発言があるように、声が中心にある音作りから、いま一度、自分の音楽に立ち戻った。

『red curb』（2001）



レイ・ハラカミの人気を不動にした代表作の一つ

2001 年にリリースされた 3 枚目のオリジナル・アルバム。レイ・ハラカミの代表作の一つとして評価が高く、2000 年代という新しい時代の始まりを象徴する作品となった。 90 年代後半にリリースされた『unrest』と『opa*q』で確立されたサウンドから、一音一音がさらに研ぎ澄まされ、既存のクラブ・ミュージック、 エレクトロニック・ミュージックのフォーマットから解放された、より自由度の高い表現へと到達した。 その音と空間の広がりは、多様な音楽的要素と静寂も取り込んだ総合的な音楽体験へとリスナーを導いた。

会場について



– 築約 90 年のモダン建築であらためて出会うレイ・ハラカミの音 –

本展覧会場は、1909 年に京都で創業した第一工業製薬の旧本社ビル。築 90 年を超える、重厚な大正モダン建築です。第一工業製薬は、90 年以上にわたり、洗剤などの身近な日用品から半導体分野などの先端材料まで、化学の力で暮らしや産業を支えてきました。

【ABOUT AMBIENT KYOTO】

京都を拠点に「アンビエント」をテーマにした「音」と「アート」、そして「空間」により構成される展覧会。

〈AMBIENT KYOTO〉は、2022 年の初開催以来、日常と非日常、伝統と新しいカルチャー、人と街が交わることで、新たな体験を創出してきました。 2022 年の 1 回目には、アンビエント・ミュージックの創始者ブライアン・イーノの展覧会〈BRIAN ENO AMBIENT KYOTO〉を開催。

2023 年の 2 回目の開催では、京都新聞ビル地下 1 階に坂本龍一 + 高谷史郎による作品を展示し、立体的な音響体験を実現しました。

また、築約 90 年の歴史的建造物「京都中央信用金庫 旧厚生センター」にコーネリアス、バッファロー・ドーター、山本精一を迎え、音と映像、そして光のインスタレーションを展示しました。

2026 年、初めて東京にて〈AMBIENT KYOTO - TOKYO〉を開催。港区の麻布台ヒルズギャラリーを会場に、〈AMBIENT KYOTO 2023〉で発表した坂本龍一 + 高谷史郎による作品「async - immersion」を展示しました。

■株式会社テー・オー・ダブリューの概要

商号	株式会社テー・オー・ダブリュー
所在地	東京都港区虎ノ門四丁目 3 番 13 号　ヒューリック神谷町ビル 3F
代表者	代表取締役社長　村津憲一
資本金	9 億 4,899 万円

【プレスお問合せ先】
〈rei harakami AMBIENT KYOTO〉PR 窓口 HOW INC.
電話：03-5414-6405　MAIL：pressrelease@how-pr.co.jp

【お客さまお問合せ先】
AMBIENT KYOTO 実行委員会
MAIL：info@ambientkyoto.com

【本件に関する問い合わせ先】
株式会社テー・オー・ダブリュー　コーポレート室 広報担当：村松
電話：03-5777-1888　MAIL：tow_info@tow.co.jp